

令和6年度第4回安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想・
犀川×前川かわまちづくり推進協議会 会議概要

1	会議名	令和6年度第4回安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想・ 犀川×前川かわまちづくり推進協議会
2	日時	令和6年12月18日 午後1時00分から午後2時20分まで
3	場所	安曇野市役所4階大会議室
4	出席者	松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 益山 代利子 千曲川河川事務所 副所長 山邊 満 安曇野市商工会 青年部部长 岩垂 巧磨 安曇野市観光協会 企画営業課長 佐藤 亜紀子 長野県水産試験場 専門研究員 小川 滋 アドバイザー 安藤 太郎 地域活性化起業者 吉田 拓 地域連携WS代表者 横内 健人 山崎 雅子 明科区区長会長 上条 順治 明科区 区長 小山 良 明科中学校長 堀金 猛 明科南認定こども園長 水谷 さとる 政策部長 児林 信治 市民生活部長 吉田 美千代 都市建設部長 横山 佳久 商工観光スポーツ部長 黒岩 一也 株式会社アンドー 松村 文好 塩島 史元 株式会社KRC 藤村 忠志 渡利 真二 黒澤 友也
5	事務局	政策経営課長 大月 敦史、企画担当主査 内川 聡介
6	公開・非公開の別	公開
7	会議録作成年月日	令和6年12月23日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 内容
 - (1) 取組状況の報告
 - ①機運醸成に向けた取組み
 - ②整備に向けた検討の状況（前川、龍門淵公園）
 - ③国、県における取組状況
 - (2) その他
- 4 閉会

3 会議内容

- (1) 取組状況の報告
 - ①機運醸成に向けた取組み

(質疑なし)

②整備に向けた検討の状況（前川）

【委員】 競技の観客者が楽しめるようなものはどのように整備するか。川の両岸の歩道をウッドデッキにすることで歩いても楽しいように整備することは設計に含まれているか。

【事務局】 公園の整備の中で行っていくようになっており、その中での検討となっていく。ただ、河川改修の事業者である株式会社アンドーと公園改修の事業者である株式会社 KRC は連携を取っている。

【委員】 川全体を照らすような照明等の設置計画はあるか。

【事務局】 照明の設置については、夜間でリバーアクティビティを行う安全性とのバランスという課題もあるため、今後の検討課題とさせていただく。ただ、地元の方がさくらまつりの際に桜を照らす照明を設置していることも承知しているため、もう少し電源を取りやすい方法等も併せて検討させていただく。

【委員】 資料 2 にある緑色の点は何か。

【株式会社アンドー】 緑色の点は測量の基準点を示している。

②整備に向けた検討の状況（龍門淵公園）

【委員】 宿泊施設 20 室とあるが何人程度を想定しているか。また意見を言った場合に計画を修正していただくことは可能か。

【事務局】 規模としては 40 人程度を想定している。意見に伴う計画の変更は、今後可能性はある。

【委員】 現在、天平の森では明科中学校の 1 学年の人数が宿泊することはできない。今後人数が減ることは想定されるが、1 学年 40 人前後となると想定されている。そのため、明科地域で宿泊体験学習ができるような施設整備を検討していただきたい。

【事務局】 いただいた意見は参考とさせていただく。

【委員】 今後変更の可能性があるということは図面ができているのか。

【事務局】 図面は出来ていない。

【委員】 図面ができれば説明はしていただけるのか。

【事務局】 その予定でいる。

【議長】 何か希望等あるか。

【委員】 これまで伝えてきた要望等がどのように反映されているのか図面を見ないとと言えない。

【委員】 この施設のデザインが重要なポイントになると考えているが、どのように決めていくのかお聞きしたい。

【株式会社 KRC】 建物の基本計画を作成する業務を行っているが、地理的な制約をどれだけクリアできるのかがひとつの課題と考えている。その他、これまでの議論を踏まえて整理していく状況であるため、どのように配置していくのかをパターン化してお示ししていきたいと考えている。

【事務局】我々もデザインの部分に関しては、今後進めていく中で住民の方々の意見や委員の皆様の意見を反映させていきたいと考えている。

【議長】このデザインに関しては、設計事務所のコンペ等を行う予定か。

【事務局】デザインについては、今後の設計の中で決めると思われるがどのような形にするのか決めかねている。いずれにしても何かしらの方法で考えていく。

【議長】詳細設計が出来次第この協議会で共有していただけるのか。

【事務局】そこまでいく前に実際の施設の中に入れる機能等を検討するため、協議会の中で図っていききたいと考えている。

【委員】現在の池の水が汚くてこどもを遊ばせられない状況であるため、せせらぎの横を流れる湧水のように常にきれいな水が流れているようになってほしい。

【事務局】今年実施したバックラフト体験会の参加者であった、普段の状況を認識していない人達からは好評だったが、数日水を張っておくと藻が生えることは承知しているため、何かいい方法がないか今後調査検討していきたい。

【委員】SLに関しては、今後他の場所の整備も行われていくと思うため、ここにあるよりも廃線敷にあった方がいいのではないか。それとセンターハウス等を整備する際に商工会で花火大会の時に使用する備品を置いていただくと助かる。

【事務局】SLに関しては、廃線敷の方が相応しいと考えるが運搬にかかるコストや運搬に耐えうる状況なのかを調査検討しなければならない。ただ、我々もその方がいいと思われる。備品につきましては、さくらまつりの備品等もあるため他の物も併せて検討していきたい。

【委員】園内の動線だけでなく、公園に訪れる人達の経路（車・電車等）についても分析をしていただければ様々なことが見えてくるのではないか。

【事務局】今後街の方までの導線について実施するかは、この場で明確な回答はできないが、検討していきたい。

【委員】水産試験場から流れる川に蓋をして、芝生広場と多目的広場を一体的に使用することができるといいのではないか。

【事務局】水路の流れを阻害することはできないため、また水路の維持管理が出来なければならないため、どこまでできる可能性があるのかは今後の検討課題となってくる。

【議長】水路を暗渠にするには幅が広すぎるということか。

【事務局】水産試験場からの排水を阻害する事象が発生した時にメンテナンス出来なければならないといった部分が課題になると考えられます。

【委員】様々な意見が出てくる中で、予算規模がないと優先順位をつけられないのではないかと思うが、教えていただくことは可能か。

【事務局】予算につきましては、現在使用できる補助金等を調査している段階であり、どのタイミングでどの補助金を使用できるのかははっきりしていないため、この場でお示しすることはできない。

【委員】国の補助金についてはどのような状況か。

【事務局】国の制度の補助金については、予算が決まらなければ発表されないため、現状ある補助金の中で使えるものがないか検討している段階。

③国、県における取組状況

(質疑なし)

(2) その他

【委員】こども園小中高で県の教育委員会の事業を実施する予定でいる。地域の方や公共機関と連携を取りながら行っていきたいと考えている。

【事務局】我々も子ども達の教育に関しては、何か出来ないかと考えているため協議を行わせていただきたい。

【委員】冬の観光を含めたオールシーズンでの観光や横内委員も仰っていた街の導線についても検討していただきたい。

【事務局】冬の観光については課題と認識しているため、検討課題としたい。

【委員】観光協会としてもぜひ一緒にコンテンツを考えていただきたい。

【委員】町が盛り上がっていくための形が必要であると感じた。

【議長】今後はアクションプランを作っていくような段階かと思うが、事務局いかがか。

【事務局】今回は、計画のたたき台をお示しすることで新たな議論が出ると思われるため準備を進めていきたい。

【委員】計画段階から民間のプレーヤーを入れて進めていければと考える。

【事務局】我々が認知できていないプレーヤーがいるのであれば紹介していただきたい。また我々の方もアプローチをしていきたい。

◎次回の予定

3月13日(木)第5回実施予定